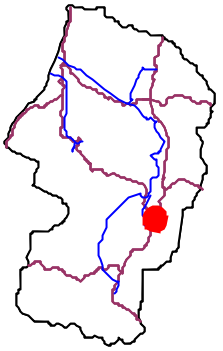
魅力ある都市づくり　「コンパクトシティ」の推進

事業名	一般国道１１２号　荒楯町（あらたてちょう）地区電線共同溝（直轄） （山形県山形（やまがた）市）
事業着手：平成１６年度	完成・供用の目標年度：平成１７年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

一般国道１１２号山形市荒楯町地区は、自動車販売店等の商業施設が連担しており、電力や通信の需要が高い地区となっています。また、重要路線である国道や主要地方道と交差しており、災害時の電柱の倒壊、電線の切断等による道路交通の支障を防止するため、沿道の架空線の撤去が課題となっています。

さらに、当該地区は電線共同溝の整備済み区間の延長上に位置し、良好な歩行空間の連続性を確保するため、無電柱化の必要性の高い地区になっています。

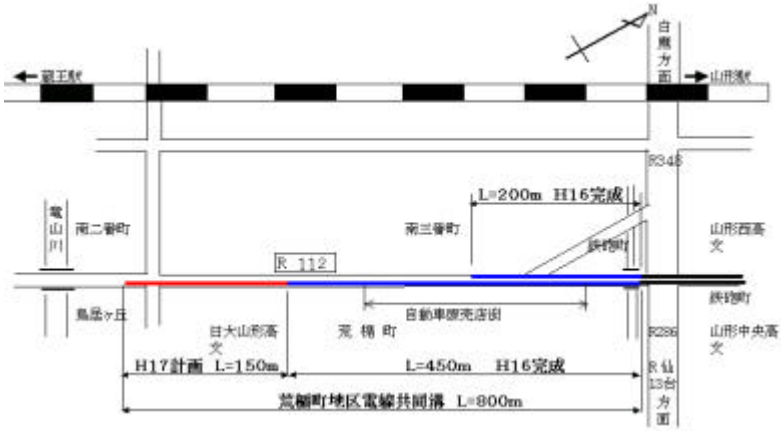
「事業の概要」

荒楯町地区電線共同溝は、安全で快適な通行空間の確保や災害時のライフラインの確保を図ることを目的とした延長８００ｍの電線共同溝整備事業です。

成果目標	現在	5年後	長期
県庁所在地の無電柱化率	10%	概ね20%	着実に増加

※目標年次は、 社会資本整備重点計画」(H15～19)に即し、H14年度末を現在とし、５年後(H19)の目標値を設定。

▼位置図





▲荒楯町地区の架空線状況



１１２号整備済み箇所の状況▶

平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：152百万円
○上り線側 L=150m の施工を進め、完成を図ります。

事　業　効　果

○都市景観の向上
○安全で快適な通行空間の確保
○情報通信ネットワークの信頼性向上
○災害時等の安定したライフラインの実現